



平成24年1月6日

各 位

上場会社名 株式会社 小島鐵工所
代表者 代表取締役社長 児玉 正蔵
(コード番号 6112)
問合せ先責任者 取締役執行役員経理部長 田中 教司
(TEL 027-322-1221)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年10月6日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしますのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年11月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年12月1日～平成23年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,500	10	20	10	1.00
今回修正予想(B)	1,206	△273	△238	△240	—
増減額(B-A)	△294	△283	△258	△250	
増減率(%)	△19.6	△2,830.0	△1,290.0	△2,500.0	
(ご参考)前期実績 (平成22年11月期)	2,234	△33	20	18	1.85

修正の理由

当社の主製品である大型油圧プレス機は、形状、能力、機能のほか、納期、一台当たりの金額もそれぞれ異なる個別受注生産でありますので、当社の売上は一定しておらず、季節の変動によるものでもなく、納期的、金額的なバラツキにより売上の変動が大きくなります。また、当社製品が大型プレス機械ゆえ、設計・生産着手から納品・据付まで平均して1年程度を要するため、受注から売上計上まで相当期間のズレを生じてしまうのが、当社の事業の特性であります。

このような事業の特性を持つ当社におきまして、当第111期通期における売上高につきましては、海外向け大型プレス機の輸出や、国内向け新製品第1号の売上寄与もあり発表予想数値15億円を下回りますが、12億6百万円を計上できる見込みであります。

利益面につきましては、引き続き外注費等原価低減を始め、人件費等諸経費全般に亘り削減に努めてまいりましたが、利益貢献する良質物件の確保が困難な状況下のため、不本意ながら、発表予想数値を大幅に下回る純損失となる見込みのため減額修正するものであります。

なお、受注状況につきましては、営業努力により前年同期(11億2千万円)を上回る13億69百万円を確保出来ており、受注残高につきましても、前年同期(5億63百万円)を上回る7億26百万円を計上できる見込みであります。現在ブリックス等の海外を中心に10億円台の引き合いが浮上しており、この成約にむけ全社一丸となって努力しているところであり、特に新製品である、建機、風力発電等向けの「リングローリングミル」は、国内外から引き合いが活発化の兆しを見せており、将来的には当社の第2の柱とするべく一層の受注増加を期待しているところであります。

* 上記予想は、現時点に於いて、入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる結果になる可能性があります。

以 上